

第205回 教育研究評議会 議事録

日 時：令和4年1月13日（木）

13時30分～14時25分

場 所：事務局第1会議室（本部棟3階）
（オンライン併用）

出席者

学長（議長）	梅原
理 事	高木、三宅、谷地、蛭名、岡田
副学長	椛島、佐土原、泉、関崎
教育学部	木村、梅澤（秋）、白取
経済学部	佐藤、奥村
経営学部	真鍋、大森
理工学部	眞田、羽深
都市科学部	藤掛、小池
国際社会科学研究院	中村、永井、西川
工学研究院	梅澤（修）、窪田、丸尾
環境情報研究院	四方、菊池、山田
都市イノベーション研究院	勝地、大野、須川
先進実践学環	根上、河潟
教養教育主事	関谷
附属図書館長	大原

議 事

I 議事録確認

第204回教育研究評議会議事録（案）（資料1）について、原案のとおり確認した。

II 報告事項

1. 議長報告

議長から、資料2に基づき、次の事項について報告があった。

- (1) 12/10 大連理工大学学長とのオンライン交流
- (2) 12/11 先進化学エネルギー研究センター開所記念シンポジウム 出席
- (3) 12/14 神奈川県立保健福祉大学 来訪（研究室訪問）
- (4) 12/15 令和3年秋叙勲伝達式 举行
瑞宝中授章 渡邊 慎介 名誉教授
塚本 修巳 名誉教授
- (5) 12/15 第17回神奈川県産学チャレンジプログラム表彰式 出席
- (6) 12/17 国立研究開発法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC) 訪問
- (7) 12/17 横浜国立大学×パラグアイ3大学と展開する JICA 草の根技術協力プロジェクト
シンポジウム 出席（オンライン）
- (8) 12/18 横浜・大学対抗ビジネスプラン 出席

- (9) 12/19 湘南ヘルスイノベーションパーク (湘南アイパーク) 視察
- (10) 12/21 横浜市立大学 訪問
- (11) 12/21 AGC 横浜テクニカルセンター 訪問
- (12) 12/22 YNU プラウド卒業生表彰式 挙行
- (13) 12/22 八幡ねじ・鈴木建吾奨学金目録贈呈式 挙行
- (14) 12/23 千葉大学・横浜国立大学協定書調印式 挙行
- (15) 12/27 横浜市政策局「海と産業革新コンベンション」 撮影
- (16) 1/4 新年学長挨拶
- (17) 1/11 寄附者への感謝状贈呈式 (富丘会、名教自然会)
- (18) 次期学部長の指名
 - ・教育学部長 木村 昌彦 教授

2. 委員会報告

議長から、委員会の開催状況について、資料2-1のとおり報告があった。

3. 理事、副学長、部局等報告

理事、副学長、部局等から、次の事項について報告があった。

(1) 理事 (総務・評価・広報・施設担当)・副学長

- ・資料3-1-1～資料3-1-2に基づき、令和3年度卒業式・修了式及び令和4年度入学式の実施計画について報告があり、併せて新型コロナウイルスの状況によっては計画の変更もあり得る旨の説明があった。
- ・本学関係者の新型コロナウイルス感染の状況について、オミクロン株の感染拡大に伴い1月に入り本学関係者の感染報告も急増している旨の報告があり、引き続き感染防止策を徹底していただきたい旨の要請があった。

(2) 理事 (研究・財務担当)・副学長

- ・資料3-2に基づき、令和4年度予算案の内示及び令和3年度補正予算案について報告があった。

(3) 理事 (教育・情報担当)・副学長

- ・新型コロナウイルスのオミクロン株への対応として外国人の新規入国が停止されているところ、本学として資料3-3-1～資料3-3-2のとおり外国人入学志願者の受験機会を確保するための対応を取った旨の報告があった。
- ・令和4年度大学入学共通テストの実施に向け、資料3-4のとおり試験日前後の体調管理について依頼を発出しているので協力いただきたい旨の報告があった。

(4) 副学長 (国際担当)

- ・資料3-5及び資料3-5-1～資料3-5-4のとおり、大学間学術交流協定の更新等を行った旨報告があった。

(5) 教育学部長

- ・資料3-6のとおり台湾高雄医学大学医学院との部局間協定を更新すること及び、資料3-7のとおり国立体育大学競技学院との部局間協定の更新を行わない旨の報告があった。

(6) 都市科学部長

- ・資料3-8のとおり淡江大学との部局間協定を更新すること及び、資料3-9のとおり文藻外語大学との部局間協定の更新を行わない旨の報告があった。

Ⅲ 人事事項報告

議長から、資料4に基づき、人事事項について報告があった。

Ⅳ 審議事項

1. 附属野外教育実習施設（清里）不動産の処分および地区の廃止について

議長から、資料5に基づき、附属野外教育実習施設（清里）の不動産（管理棟・宿泊棟・体育館・ボイラー室）の処分と、それに伴う本学の清里地区の廃止について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

2. 国立大学法人横浜国立大学業務方法書の改正について

理事（総務・評価・広報・施設担当）から、国立大学法人法及び国立大学法人法施行規則が改正されることに伴い、資料6-1～資料6-3のとおり、国立大学法人横浜国立大学業務方法書を改正する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

3. 第4期中期目標（原案）・中期計画（案）について

理事（総務・評価・広報・施設担当）から、第4期中期目標・中期計画（素案）に対する国立大学法人評価委員会からの指摘を踏まえ、資料7-1～資料7-3のとおり、第4期中期目標（原案）及び中期計画（案）を作成した旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4. 令和6年度横浜国立大学入学者選抜における変更について

理事（教育・情報）から、資料8に基づき、令和6年度入学者選抜から都市科学部建築学科及び都市基盤学科の第2志望制を廃止することの告知を行いたい旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

5. 横浜国立大学学則の一部を改正する規則（案）等について

理事（研究・財務担当）から、資料8-1～資料8-4に基づき、授業料の口座引落日及び督促方法の変更を行うため横浜国立大学学則等の一部改正を行う旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

6. 大学間学術交流協定の締結について

副学長（国際担当）から、資料9及び資料9-1のとおり、大学間学術交流協定の締結を行う旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

7. ユネスコチェアに係るユネスコとの協定締結について

副学長（国際担当）から、資料10に基づき、本学にユネスコチェアを設置することに関して、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）と協定を締結する旨の説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

なお、次のとおり質疑応答がされた。

- ・ユネスコチェアを設置することにより、今後学部・大学院で具体的にどのような活動を行っていくことが想定されているか。

→MAB (Man and the Biosphere) プログラムとして、神奈川県の県西地域をユネスコパークに認定してもらうような活動を想定しており、地域連携活動を国際的に展開していきたい。既に県西地域で実施している環境情報研究院の研究、教育学部で展開しているESD(持続発展教育)の里山に関する教育研究活動、第二フェーズに入るJICAとの共同事業(本学×JICA 草の根技

術協力事業:「第二フェーズ:パラグアイにおける複合的農村開発プロジェクト～アグリツーリズムの展開に向けて～」(2022年4月開始)など、親和性のある様々な取り組み行われている。このほかにも今後各部局の様々な取り組みに期待している。

V その他事項

1. 名誉教授審査委員会の審査結果について

理事(総務・評価・広報・施設担当)から、資料11に基づき、昨年12月9日開催の第204回教育研究評議会で設置された名誉教授審査委員会において、審査申請のあった案件について審査を行った旨の報告があった。

教育学部長及び都市イノベーション研究院長から審査申請のあった者については、昨年12月15日に審査を行い、いずれも名誉教授の称号授与規則第2条第3号に該当すること、工学研究院長から審査申請のあった者については本年1月5日に審査を行い、名誉教授の称号授与規則第3条3号に該当することが確認された旨報告された。